

令和3年1月29日開会

予算審査特別委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

予算審査特別委員会会議録

~~~~~

## 日 程

日 時 令和3年1月29日（金）  
組合議会臨時会休憩中  
場 所 米子市淀江支所議場

- 1 開 会
- 2 審査事項  
議案第2号 令和2年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算  
(補正第2回)
- 3 閉 会

~~~~~

出席者（16名）

委員長	中田 利幸	副委員長	幸本 元
委員	今城 雅子	委員	国頭 靖
委員	石橋 佳枝	委員	戸田 隆次
委員	三鴨 秀文	委員	岩崎 康朗
委員	森岡 俊夫	委員	足田 法行
委員	井藤 稔	委員	杉谷 洋一
委員	景山 浩	委員	山本 芳昭
委員	小谷 博徳	委員	上原 二郎

~~~~~

## 欠席者（0名）

~~~~~

説明のため出席した者

副管理者	米子市副市長	伊澤 勇人	事務局長	三上 洋
消防局長		藤山 史郎	消防局次長兼総務課長	赤川 紀夫
事務局総務課長		生田 公志	事務局施設工事課長	本池 将
事務局環境資源課長		安野 武男	消防局予防課長	安達 憲吾
消防局警防課長		多田 儒司	消防局指令課長	細田 恵誠
消防局主査		生田 圭一郎	消防局警防課救急室長	岩田 幸博
事務局総務課長補佐		伏野 哲彦	事務局施設工事課長補佐	林原 昭夫
消防局総務課長補佐		清水 賢一	事務局環境資源課担当課長補佐	三原 剛
消防局総務課担当課長補佐		高田 一広		

~~~~~

### 事務局の職員

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 書記長 | 針田 智子 | 書記 | 堀尾 周作 |
|-----|-------|----|-------|

~~~~~

1 開 会

(午後2時50分 開会)

○中田委員長 ただいまより、予算審査特別委員会を開会いたします。

~~~~~

### 2 審 査 事 項

○中田委員長 それでは、日程2、審査事項に入りたいと思います。先ほど、本会議から付託されました議案1件について審査いたします。では、議案第2号、令和2年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算、補正第2回を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

○三上事務局長 委員長。

○中田委員長 三上事務局長。

○三上事務局長 そういたしますと、令和2年度一般会計補正予算、補正第2回の概要につきまして、御説明をさせていただきたいと思います。資料のほうは、

概要と書きました縦版の資料のほうに沿いまして説明をさせていただきます。まず、第2回の補正額でございますけれども、8,181万5,000円減額をいたしまして、補正後の予算額を49億3,816万2,000円としております。市町村負担金の補正額につきましては、3,053万1,000円減額をいたしまして、補正後の額は、42億6,530万3,000円でございます。括弧書きでございますけれども、この補正額には、桜の苑の改修工事に係ります市町村別起債、1億1,350万円を含んでおりますので、これを除きますと、補正額は1億4,403万1,000円の減となります。市町村負担金の額は、41億5,180万3,000円ということでございます。次に、その下の主な補正内容の歳入でございますけれども、前年度繰越金による増額が、6,200万余り。補助対象車両の増車によります緊急消防援助隊設備整備費補助金の国庫支出金の増額が1,300万余りとなりました一方で、契約実績減及び国庫補助金の増によります消防債の減額が3,900万余り。事業実績の見込みによります減額と、前年度繰越金の財源充実に伴います市町村負担金の減額が3,000万余りというふうになってございます。歳出につきましては、令和元年度決算剰余金の財政調整基金積立に伴います一般管理費の増額が、3,200万余りというふうになりました一方で、リサイクルプラザなどに係ります事業費の実績見込減によります衛生費の減額が7,300万余り。人件費及び事業費の実績見込減によります消防費の減額が3,700万余りとなっております。市町村別の市町村負担金でございますけれども、下の表のとおりでございますが、太枠で囲っております左から3列目、②でございますが、こちらの数字が第2回補正後の額というふうになっております。その右側の3番、比較のところを見ていただきますと、大山町と南部町、それから日野郡3町がプラスというふうになっておりますけれども、これはその右側の④番、市町村別起債額というふうに書いておりますけれども、桜の苑の市町村別起債をされた関係で増額というふうになったものでございまして、その右側でございます。これを除きますと、全ての市町村によりまして減額ということになっております。続きまして、3ページを御覧ください。歳入の主な増減の要因でございますが、1ページの説明と重複するところでございますけれども、1款の分担金及び負担金の、市町村負担金を3,000万余り減額としておりますが、これは繰越金等の歳入の財源充たと、事業費の実績見込減によるものでございます。3款の国庫支出金、消防費国庫補助金を1,300万余り増額としておりますが、これは補助対象車両の増車によります補助金の増額等によるものでございます。7款の繰越金でございます。前年度繰越金でございますが、6,200万余りを増額としておりますが、これは、前年度決算に基づく繰越金の確定によるものでございます。おはぐりをいただきまして、4ページでございます。9款の組合債。保健衛生債を約9,700万の減額としておりますが、これは、先ほど来御説明をいたしております桜の苑の改修工事費、これを市町村別起債方

式にしたことによります減額でございます。最後に消防債でございますが、3,900万余りの減額ということでございますが、これも自動車3台分の事業費の確定によります減額ということがその要因でございます。ページをおはぐりいただきまして、6ページを御覧ください。続きまして、歳出の主な増減の要因でございます。2款、総務費。一般管理費の積立金を3,100万円余り増としておりますけれども、これは決算剰余金の確定によります財政調整基金積立金の新規計上によるものでございます。4款、衛生費。中程の不燃物処理費でございます。委託料を、3,900万余り減額にしております。また、その下の、工事請負費。これを、1,400万余り減額としておりますけれども、それぞれ契約実績減による減額が要因でございます。一つ飛びまして、白浜浄化場の管理費、需用費を290万余り減額としておりますが、これは、この4月に浄化場の統合を行いました。この完了に伴います光熱水費の減額によるものでございます。その下の、米子浄化場処理費、需用費でございますが、500万余りを減額しております。また、委託料につきましても500万余り減額でございますが、これは、それぞれ記載のとおりの実績見込減、また契約実績の減による減額が要因でございます。5款、消防費。常備消防費でございますが、職員人件費、2,200万余りを減額としておりますが、再任用職員3名の減員等によるものでございます。最後に、消防施設費の備品購入費でございますけれども、880万余りが車両購入費の契約実績の減によるものでございます。その下の、560万余りの減でございますが、こちらにつきましても、機械器具費の契約実績減によるものということでございます。最後に、9ページを御覧ください。債務負担行為でございます。桜の苑指定管理料と火葬場予約システム、保守管理業務の委託料の限度額でございますけれども、それぞれ事業費が確定したことによりまして、変更をさせていただいたものでございます。説明につきましては以上でございます。

**○中田委員長** 当局からの説明は終わりました。これより質疑に入ります。委員の皆さんから質疑等あればお願いいたします。ございませんか。ないものと認め、質疑を終結いたします。続いて討論に入ります。討論ございますか。

〔「なし」と声あり〕

**○中田委員長** 別のないものと認め、討論を終結いたします。これより、本件について採決いたします。議案第2号、令和2年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算、補正第2回については、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○中田委員長** 御異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で、当委員会に付託されました議案の審査は全て議了いたしました。

~~~~~

3 閉 会

○中田委員長 これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会いたします。

(午後 3 時 0 0 分 閉会)

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算審査特別委員会委員長 中 田 利 幸